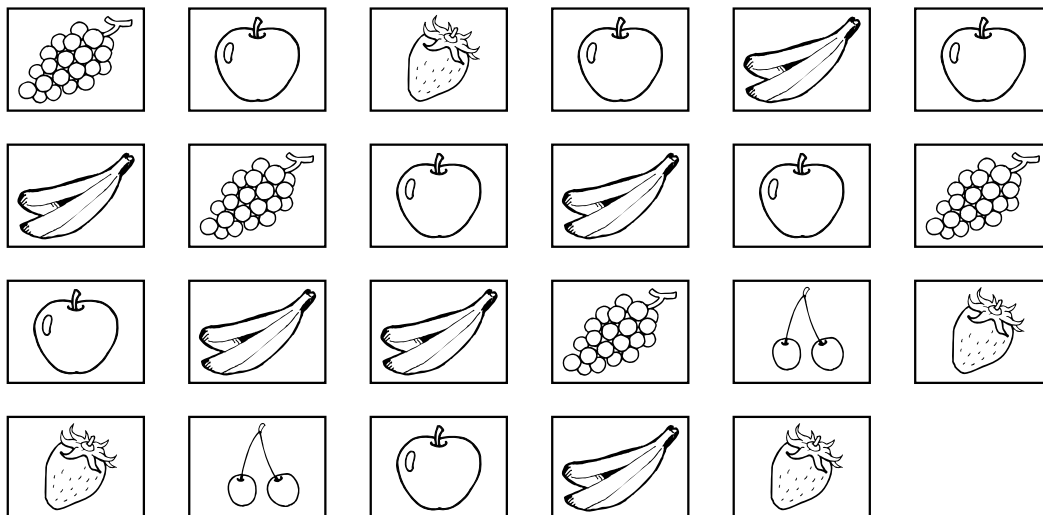


1 表とグラフ ①

な
ま
え

ねらい 身の回りの数量を分類整理して、簡単な表やグラフに表すことができる。

I くだものの カードの 数を 表や グラフに あらわしましょう。



くだものの カードの 数しらべ

くだもの	ぶどう	りんご	イチゴ	バナナ	さくらんぼ
まいすう	4				

くだもののカードの数しらべ

○				
○				
○				
○				
ぶ ど う	り ん ご	イ チ ゴ	バ ナ ナ	さ く ら ん ぼ

① いちばん 数が 多い くだものは
どれでしょうか。 ()

また、その 数は 何こでしょうか。

()

② 2番めに 数が 多い くだものは
どれでしょうか。 ()

また、その 数は 何こでしょうか。

()

1 表とグラフ (学んだことをつかおう) ②

なまえ

ねらい

表やグラフを活用する場面について考えたり、読み取ったりすることができる。

Ⅰ つぎの グラフから どんなことが わかるでしょうか。

2年1組の 4月△日
あそびの 人数しらべ

	○			
	○			
○	○			
○	○	○		
○	○	○		
○	○	○		
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
おにごっこ	ジャングルジム	ボールあそび	なわとび	一りん車

2年1組の せんしゅう、ほけんしつを
つけた人の りゆうしらべ

			○				
			○				
			○				
		○	○				○
○		○	○		○		○
○		○	○		○		○
○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○
きりきず	はなち	だぼく	すりきず	ねんざ	ねっ	ずっう	ふくつう

(ア)～(エ)の中で、正しいものには ○を、まちがっているものには ×を () の中に 書きましょう。

(ア) おにごっこよりも、ボールで あそんでいる 人の方が
多^{おお}いです。 ()

(イ) なわとびで あそんだ 人は 3人です。 ()

(ウ) ねんざで ほけんしつを つかった 人は、きりきずで
つけた 人より 少^{すく}ないです。 ()

(エ) だぼくで ほけんしつを つかった 人が いちばん
多^{おお}いです。 ()

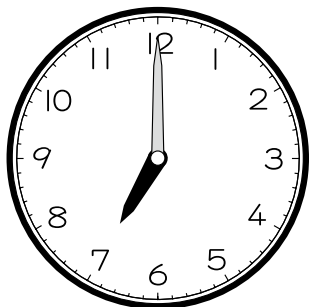
2 時こくと時間 ①

なまえ

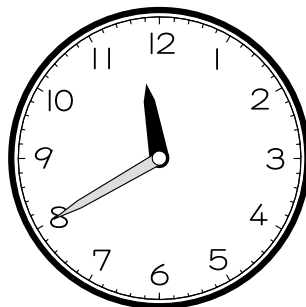
ねらい 「時刻、時間」の意味や、時間の単位「時、分」の関係を理解する。

① 下の ^{とけい}時計を見て、それぞれの ^じ時こくを ^か書きましょう。

①


 時

②


 時 分

② に あてはまる ^{かず}数を ^か書きましょう。

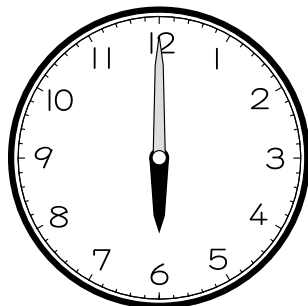
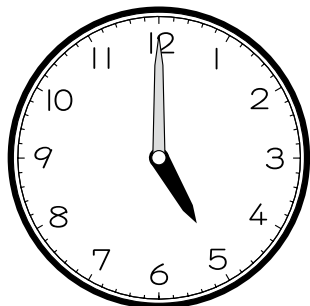
① 時計の 長い はりが 1めもり すすむ ^{じかん}時間を

^{ふんかん}分間と いいます。

② 長い はりが ひとまわりする 時間は 分間です。

③ 60分間を 時間と いいます。

④ 本を よみ はじめる 本を よみ おわる



本を よんでいた

時間は 分間です。

これは 時間です。

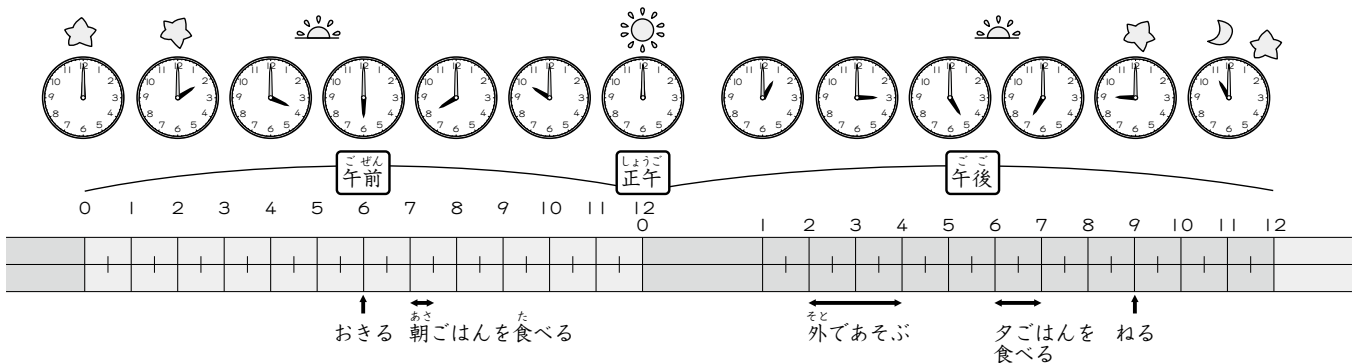
⑤ 1時間20分 = 分

⑥ 70分 = 時間 分

2 時こくと時間 ②

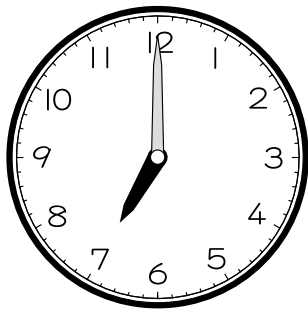
な
ま
え**ねらい** 午前と午後、正午の意味や、時間の単位「日、時」の関係を理解する。

1 下の 図の 時計を 見ながら、□の中に あてはまる 数を 書きましょう。

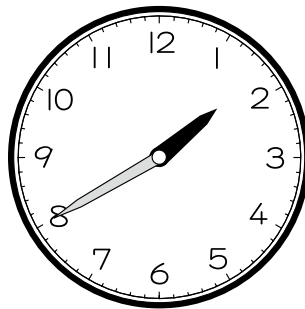


- ① 1日は □ 時間です
- ② 外で あそぶ 時間は □ 時間です。
- ③ 夕ごはんを 食べる 時こくは、午後 □ 時からです。
- ④ ねる 時こくは、午後 □ 時です。

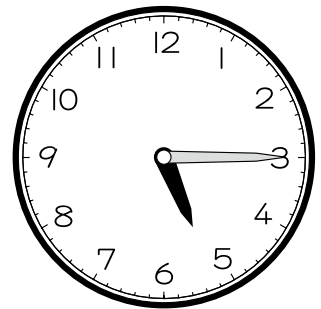
2 午前と 午後を つかって、時こくを 書きましょう。



あさ



ひる



ゆうがた

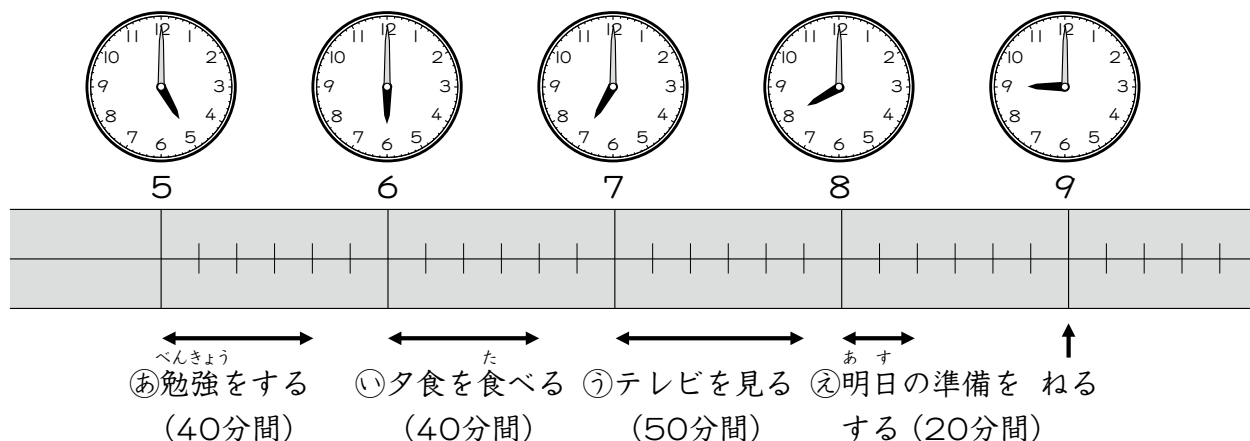
- ① () ② () ③ ()

時こくと時間 (学んだことをつかおう) ③

なまえ

ねらい 日常生活の場面と関連付けて、時刻や時間を表すことができる。

- ① 午後^ご5時から 午後^ご9時までの^{あいだ}間に ④から⑤の ことをします。
□の中に あてはまる^{かず} 数^かを 書きましょう。



- ① ④の 勉強^{べんきょう}が おわる 時こくは
午後 時 分です。
- ② ①の 夕食^たを 食べる 時間は 分間です。
- ③ ③の テレビ^{てれび}を 見るのが おわる 時こくは
午後 時 分です。
- ④ ⑤の 明日^{あす}の じゅんぴを するのは 分間です。
- ⑤ 午後5時から 午後9時までの 時間は 時間です。
- ⑥ ねる 時こくは 午後 時です。

3 たし算 ①

な
ま
え

ねらい 場面絵を見て加法の問題を作り、未習の問題に取り組むことに興味をもつ。

おかしを
2つ
えらぼう！



Ⅰ しゅるいの ちがう おかしを 2つ 買います。
あわせて 何円に なるでしょうか。

① いちばん たかい 買い方の 式と 代金を もとめましょう。
〈式〉 答え

② いちばん やすい 買い方の 式と 代金を もとめましょう。
〈式〉 答え

③ グミと ガムの 式と 代金を もとめましょう。
〈式〉 答え

3 たし算 ②

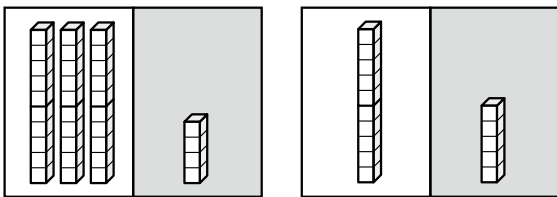
なまえ

ねらい 2位数+2位数で繰り上がりのない加法計算を理解する。

① よしこさんと まさきさんは $34+15$ の ^{けいさん}計算の しかたを つぎのように ^{かんが}考えました。

○や □に あう ^{かず}数を ^か書きましょう。

よしこ

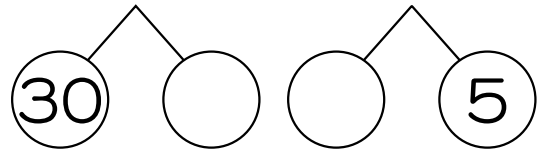


が あわせて □ こ

が あわせて □ こ

まさき

$$34 + 15$$



$$30 + \bigcirc = \square$$

$$\bigcirc + 5 = \square$$

あわせて

$$34 + 15 = \square$$

こた
答え

② $42+16$ の ^{くらい}計算の しかたを 十の位、一の位と いう ことばをつかって、せつ明^{めい}しましょう。

□に あう 数を 書きましょう。

十の位 どうしを たすと、

$$\square + \square = \square$$

一の位 どうしを たすと、

$$\square + \square = \square$$

十の位の 5は、10が 5こで □ という いみだから、

$42+16$ の ^{こた}答えは、□ と □ を あわせて □ です。

3 たし算 ③

な
ま
え

ねらい 2位数+2位数で繰り上がりのない加法の筆算の仕方を理解する。

- ① $34+15$ の ^{ひっさん}筆算の ^{めい}しかたを ^かせつ明します。
□に ^{かず}あう ^か数を ^か書きましょう。

◆ $34+15$ の ^{ひっさん}筆算の ^かしかた

十の位	一の位
-----	-----

$$\begin{array}{r}
 34 \\
 + 15 \\
 \hline
 49
 \end{array}$$

- ① ^{くらい}位を たてに そろえて
書く。

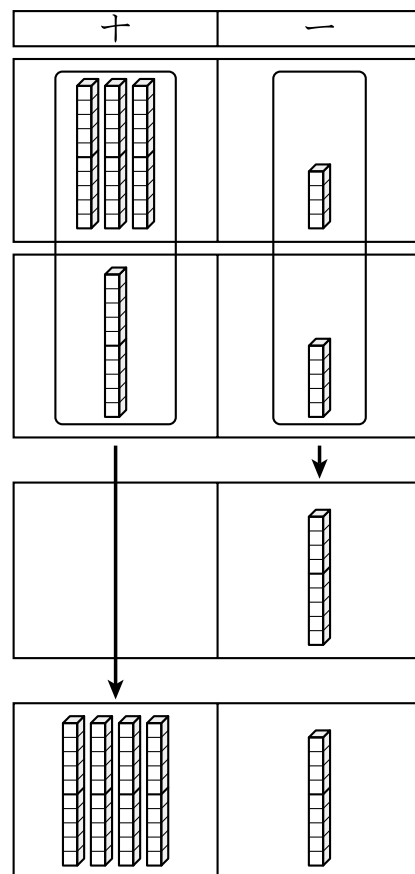
- ② 一の位の 計算を する。

$$\square + \square = 9$$

- ③ 十の位の 計算を する。

$$\square + \square = 4$$

十の位の 計算の $\square + \square = 4$ は、
 $\square$ が 4こと いう いみだね。



- ② 筆算で しましょう。

① $46+53$

+		

② $60+38$

+		

③ $30+40$

+		

3 たし算 ④

な
ま
え**ねらい** 2位数+2位数で繰り上がりのある加法の計算の仕方を理解し、筆算ができる。(2時間)

- ① ゆうきさんは $43+29$ の ^{ひっさん}筆算のしかたを見て、
 どのように ^{けいさん}計算するのか ^{めい}せつ明しました。
 □に あう ^{かず}数や () に あう ことばを ^か書きましょう。

◆ $43+29$ の筆算のしかた

十の位	一の位
-----	-----

$$\begin{array}{r} 43 \\ + 29 \\ \hline \end{array}$$

- ① ^{くらい}位を () に
そろえて書く。

くり上がりの1

$$\begin{array}{r} 1 \\ 43 \\ + 29 \\ \hline \end{array}$$

- ② 一の位の計算をする。

$$\square + \square = \square$$

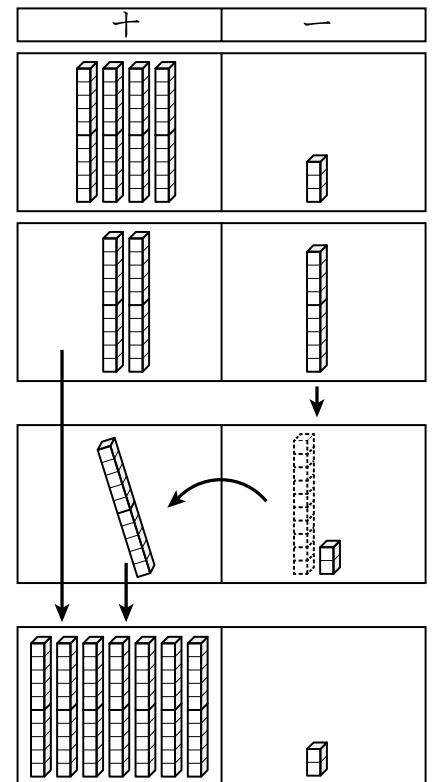
十の位に $\square$ くり上げる。

$$\begin{array}{r} 1 \\ 43 \\ + 29 \\ \hline 72 \end{array}$$

- ③ 十の位の計算をする。

$$\square + \square + \square = \square$$

$$43 + 29 = \square \quad \text{こた 答え} \square$$



$$\begin{array}{r} 43 + 29 \\ \hline 40 \quad 3 \quad 20 \quad 9 \\ 3 + 9 = 12 \\ 40 + 20 = 60 \\ 12 + 60 = 72 \end{array}$$

- ② 筆算で しましょう。

①

$$\begin{array}{r} \square \quad 4 \quad 6 \\ + \quad 2 \quad 7 \\ \hline \square \quad \square \quad \square \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} \square \quad 7 \quad 5 \\ + \quad 1 \quad 6 \\ \hline \square \quad \square \quad \square \end{array}$$

ねらい 2 位数 + 2 位数 = 何十の計算や、1 位数と 2 位数の繰り上がりのある加法の計算ができる。

1 ひっさん 筆算で しましょう。

① $19 + 51$

+		

② $42 + 38$

+		

③ $23 + 67$

+		

2 筆算の しかたで 正しい ものに ○を つけましょう。

$$\begin{array}{r} 4 \\ + 53 \\ \hline 93 \end{array}$$

()

$$\begin{array}{r} 4 \\ + 53 \\ \hline 93 \end{array}$$

()

$$\begin{array}{r} 22 \\ + 7 \\ \hline 29 \end{array}$$

()

$$\begin{array}{r} 7 \\ + 22 \\ \hline 29 \end{array}$$

()

$$\begin{array}{r} 22 \\ + 7 \\ \hline 93 \end{array}$$

()

3 筆算で しましょう。

① $37 + 48$

+		

② $72 + 18$

+		

③ $8 + 42$

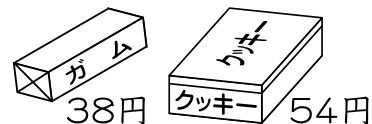
+		

3 たし算 ⑥

なまえ

ねらい 加法の交換法則を理解する。

- ① あわせて ^{なん}何円に なりますか。
2とおりの ^{ひっさん}筆算で ^{けいさん}計算を しましょう。



^{しき}式 $38 + 54 =$

^{しき}式 $54 + 38 =$

$$\begin{array}{r} + \\ \hline \end{array}$$
^{こた}答え $\quad \quad \quad$ 円

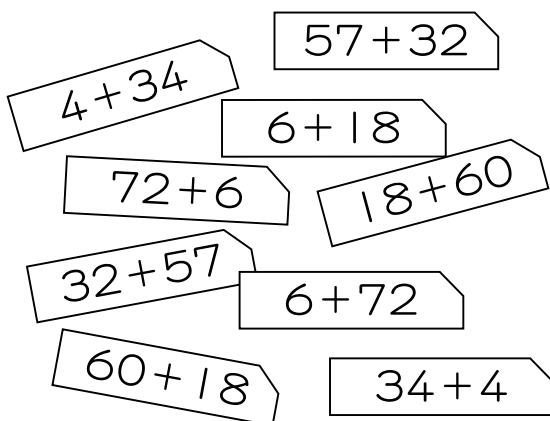
$$\begin{array}{r} + \\ \hline \end{array}$$
^{こた}答え $\quad \quad \quad$ 円

() に あてはまる ことばを ^か書きましょう。

◆ たし算の ^{さん}きまり

たし算では、たされる数と ^{かず}たす数を () て
たしても 答えは () になります。

- ② ^{おな}同じ 答えに なる 式を 見つけましょう。



- ① $\quad \quad \quad$ と $\quad \quad \quad$
② $\quad \quad \quad$ と $\quad \quad \quad$
③ $\quad \quad \quad$ と $\quad \quad \quad$
④ $\quad \quad \quad$ と $\quad \quad \quad$

たし算
(学んだことをつかおう) ⑦な
ま
え

ねらい

日常生活の場面と関連付けて、加法の計算を活用することができる。



Ⅰ 上の絵を見て、100円までで買えるおかしをえらびましょう。

- ① しゅるいのちがうおかしを3しゅるい買います。
買えるおかしと式を1つえらんで書きましょう。

() と () と ()
〈式〉

こた
答え

- ② マシュマロとせんべいを1つずつえらびました。
あと1つ買います。100円までで買えるおかしをえらびましょう。

()

4 ひき算 ①

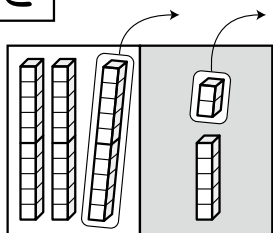
なまえ

ねらい 2位数－2位数で繰り下がりのない減法の計算の仕方を理解する。(2時間)

① かずこさんと さとしさんは $37-12$ の ^{けいさん}計算の しかたを つぎのように ^{かんが}考えました。

○や □に あう ^{かず}数を ^か書きましょう。

かずこ

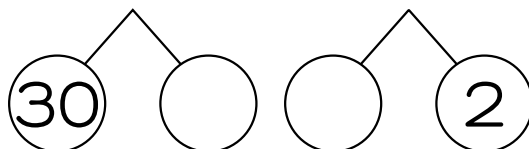


が のこり □ に

が のこり □ に

さとし

$$37 - 12$$



$$30 - \bigcirc = \square$$

$$\bigcirc - 2 = \square$$

のこりは

$$37 - 12 = \square$$

^{こた}答え

② $48-26$ の ^{くらい}計算の しかたを 十の位、一の位と いう ことばをつかって、せつ明^{めい}しましょう。

□に あう 数を 書きましょう。

十の位どうしを ひくと、 $\square - \square = \square$

一の位どうしを ひくと、 $\square - \square = \square$

十の位の 2は、10が 2こで $\square$ という いみだから、

$48-26$ の 答えは、 $\square$ と $\square$ を あわせて $\square$ です。

4 ひき算 ②

な
ま
え**ねらい** 2位数－2位数で繰り下がりのない減法の筆算の仕方を理解する。

- ① $37-12$ の ^{ひっさん}筆算の ^{めい}しかたを ^かせつ明します。
□に ^{かず}あう ^か数を ^か書きましょう。

◆ $37-12$ の 筆算の しかた

十の位	一の位
-----	-----

$$\begin{array}{r}
 37 \\
 -12 \\
 \hline
 37 \\
 -12 \\
 \hline
 25
 \end{array}$$

- ① ^{くらい}位を たてに そろえて 書く。

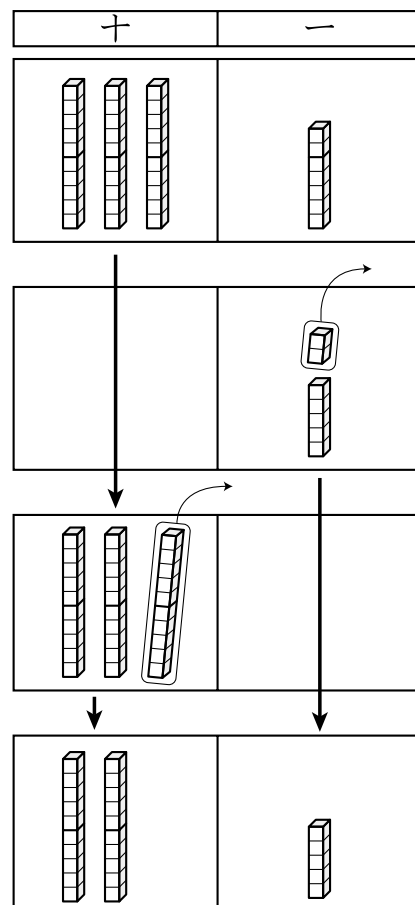
- ② 一の位の 計算を する。

$$\square - \square = 5$$

- ③ 十の位の 計算を する。

$$\square - \square = 2$$

十の位の 計算の $\square - \square = 2$ は、
 $\square$ が 2こと いう いみだね。



- ② 筆算で しましょう。

① $97-42$

—		

② $56-30$

—		

③ $85-25$

—		

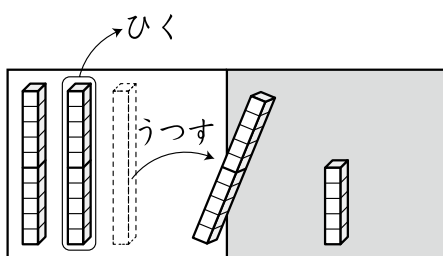
4 ひき算 ③

な
ま
え

ねらい 2位数－2位数で繰り下がりのある減法計算を理解する。

- ① $35 - 19$ の 計算の しかたを 考えましょう。
 ○や □に あう 数を 書きましょう。

かずこ



- ① 十の位から 一の位に 10の
 まとまりを うつすと 15に
 なるから 一の位の 計算は

$$15 - 9 = \bigcirc$$

- ② 30から 一の位に 10 うつして

$$10 \text{ ひくと } \bigcirc \text{ 十の位の 計算は } 20 - 10 = \bigcirc$$

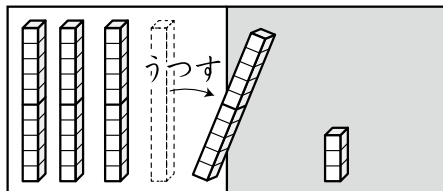
③ $35 - 19 = \square$

さとし

$$\begin{array}{r} 35 - 19 \\ \begin{array}{cc} \swarrow & \searrow \\ \bigcirc & \bigcirc \end{array} \quad \begin{array}{cc} \swarrow & \searrow \\ \bigcirc & \bigcirc \end{array} \\ \begin{array}{cc} \bigcirc & \bigcirc \end{array} - \begin{array}{cc} \bigcirc & \bigcirc \end{array} = 6 \\ \begin{array}{cc} \bigcirc & \bigcirc \end{array} - \begin{array}{cc} \bigcirc & \bigcirc \end{array} = 10 \end{array}$$

のこりは

- ② $43 - 18$ の 計算の しかたを 考えましょう。



十の位から 一の位に 10の
 まとまりを うつすと 13に
 なります。

$$43 - 18 = \square$$

$$\begin{array}{r} 43 - 18 \\ \begin{array}{cc} \swarrow & \searrow \\ \bigcirc & \bigcirc \end{array} \quad \begin{array}{cc} \swarrow & \searrow \\ \bigcirc & \bigcirc \end{array} \\ \begin{array}{cc} \bigcirc & \bigcirc \end{array} - \begin{array}{cc} \bigcirc & \bigcirc \end{array} = 5 \\ \begin{array}{cc} \bigcirc & \bigcirc \end{array} - \begin{array}{cc} \bigcirc & \bigcirc \end{array} = 20 \end{array}$$

のこりは

4 ひき算 ④

なまえ

ねらい 2位数－2位数で繰り下がりのある減法計算の筆算ができる。

① 35－19の ^{ひっさん}筆算の ^{しかた}を ^{かんが}考えましょう。□に ^{かず}あう ^か数を ^か書きましょう。

くり下がりの1

①

十の位	一の位
3	4
－ 1	9



②

□	14
3	4
－ 1	9
	□



③

2	
3	4
－ 1	9
□	5

く
ら
い
位を たてに
そろえて 書く。

一の位の 計算を する。
十の位から 1 くり下げる。

十の位の
計算を する。

② 筆算で しましょう。

① 53－17

－		

② 71－48

－		

③ 62－49

－		

④ 84－65

－		

⑤ 67－39

－		

⑥ 91－57

－		

4

ひき算

⑤

な

ま

え

ねらい

何十一何十何の計算や、2位数－2位数＝1位数の計算ができる。
また、2位数－1位数で繰り下がりのある減法の計算ができる。

I

ひっさん

筆算で しましょう。

①

$80 - 27$

②

$75 - 68$

③

$57 - 48$

④

$43 - 6$

⑤

$96 - 9$

⑥

$60 - 8$

2

まさきさんは 45ページの 本を よんでいます。

きょうは 37ページまで よみました。

のこりは 何^{なん}ページでしょうか。

〈筆算〉

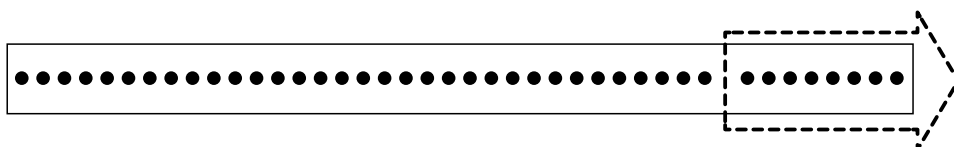
〈式〉

答え

ねらい 加法と減法の相互関係と計算の確かめの仕方を理解する。

Ⅰ はこに マグネット（じしゃく）が 41こ はいっています。

① 8こ とり出すと、のこりは 何こに なるでしょうか。

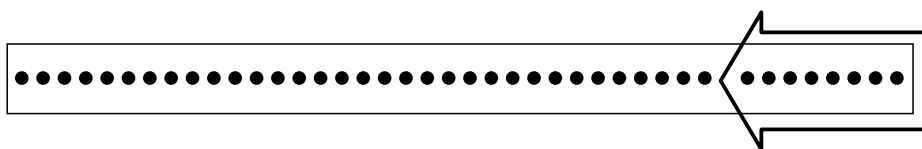


しき
〈式〉

こた
答え

ひっさん
〈筆算〉

② とり出した 8この マグネット（じしゃく）を はこに もどすと、何こに なるでしょうか。



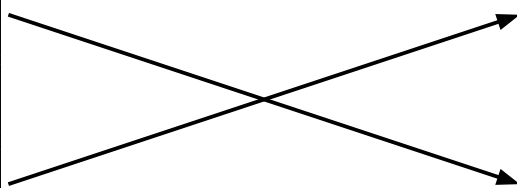
〈式〉

答え

〈筆算〉

Ⅱ $87 - 29$ の 計算をして、答えの たしかめを しましょう。

$$\boxed{87} - \textcircled{29} = \diamond \xrightarrow{\text{たしかめ}} \diamond + \textcircled{} = \square$$

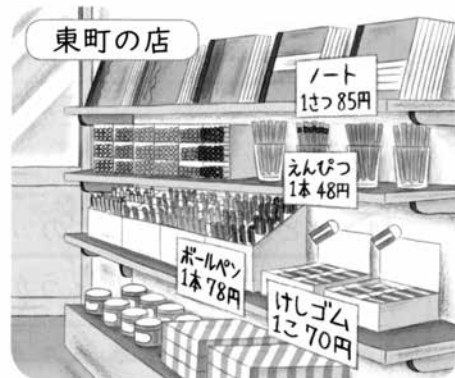


4 ひき算
(学んだことをつかおう) ⑦な
ま
え

ねらい

日常生活の場面の問題解決に減法の計算を活用し、判断の理由を言葉や式などを用いて説明することができる。

どちらが やすいかな？



にしまち みせ 西町の店では きょうは 15円 引きです。

- ① えんぴつの ねだんを くらべて、どちらの店で 買う ほうが
 やすいか せつ明(めい)しましょう。

()

- ② けしゴムの ねだんを くらべて、どちらの店で 買う ほうが
 やすいか せつ明(めい)しましょう。

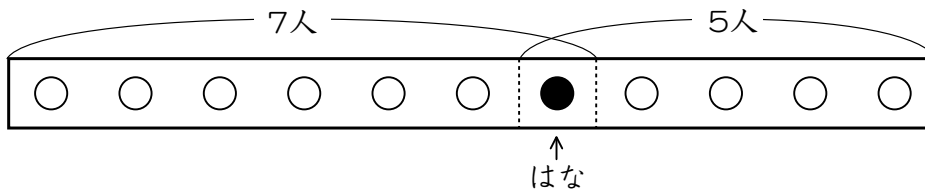
()

★ 算数ワールド
何人いるかな

な
ま
え

ねらい 重なりがある場合などの順序数の加法を理解する。

① みんなで ^{なん}何人 いるでしょうか。



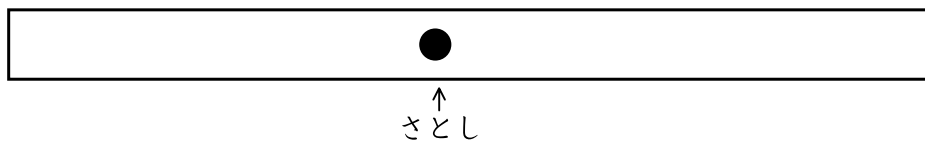
しき
〈式〉

こた
答え

② みんなで 何人 いるでしょうか。



① 下の 図に ^ず○で ^{あらわ}表しましょう。



② 式と 答えを ^か書きましょう。

〈式〉

答え

ねらい 長さの比較・測定の意味について理解する。

- ① けいこさんと はやとさんの 2人が しおりの ^{なが}長さを
けしゴムを つかって しらべました。

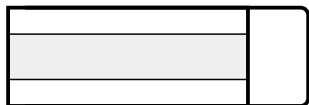


けいこさんは けしゴム 3こ分でした。

はやとさんは けしゴム 4こ分でした。

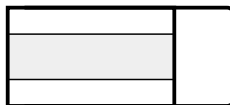
けいこさんと はやとさんの つかった けしゴムを えらんで
() の中に 名まえを ^か書きましょう。

② あ



()

い



()

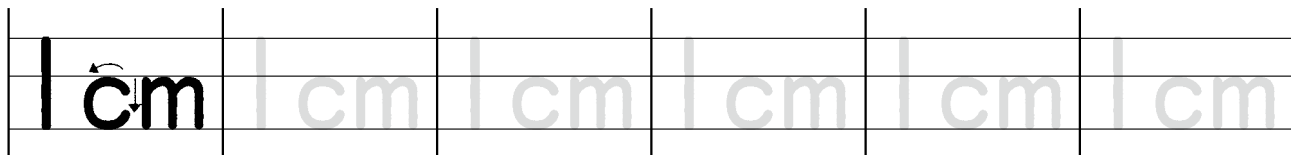
- ② 下の ^{せん}線の 長さを、自分の けしゴムを つかって
しらべてみましょう。



答え

ねらい 長さの単位「cm」、長さの測定（普遍単位）を理解する。

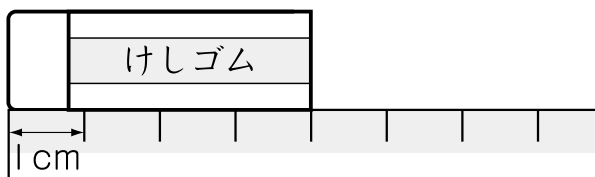
- ① ^{なが}長さの ^{たんい}たんい cm（センチメートル）を ^か書く れんしゅうを
しましょう。



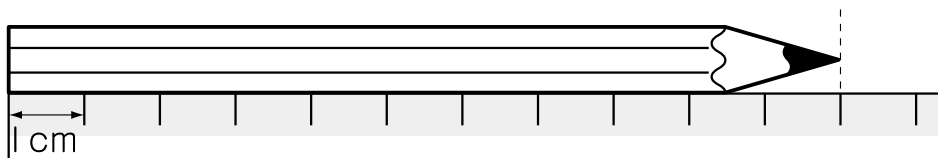
- ① 1 cmの 2 分を _____ と 書きます。

- ② 1 cmの 3 分を _____ と 書きます。

- ② めもりテープの 1 めもりの 長さは 1 cmです。
それぞれの めもりテープの めもりで ^{なん}何こ分で
何cmでしょうか。



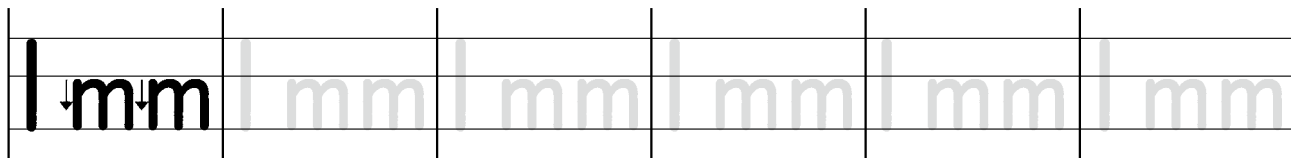
- ① けしゴムは、めもり こ分で、 長さは _____



- ② えんぴつは、めもり こ分で、 長さは _____

ねらい 長さの単位「mm」と単位の関係、ものさしの機能と使い方を理解する。

- Ⅰ ^{なが}長さの ^{たんい}たんい mm「ミリメートル」を ^か書く れんしゅうを
しましょう。



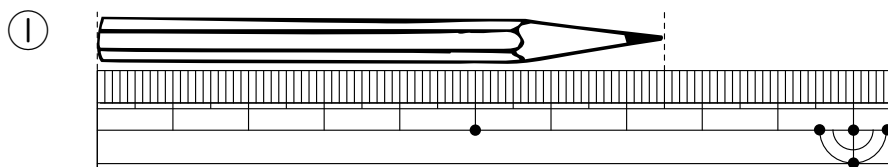
- ① □の 中に あてはまる ^{かず}数を、()の 中には あてはまる
長さや ことばを 書きましょう。

1 cmを 同じ 長さに□こに 分けた ^{ぶん}1つ分の
長さを () といい、() と
書きます。

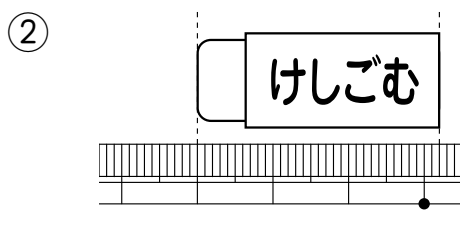
- ② cmや mmは 長さの () です。

- ③ 1 cm = □ mmです。

- Ⅱ 長さは どれだけですか。



□ mm = □ cm □ mm



□ mm = □ cm □ mm

ねらい 長さの単位「mm」と単位の関係、ものさしの機能と使い方を理解する。

1 □に あてはまる ^{かず} 数を ^か 書きましょう。

① $5\text{ cm} = \square \text{ mm}$

② $6\text{ cm } 7\text{ mm} = \square \text{ mm}$

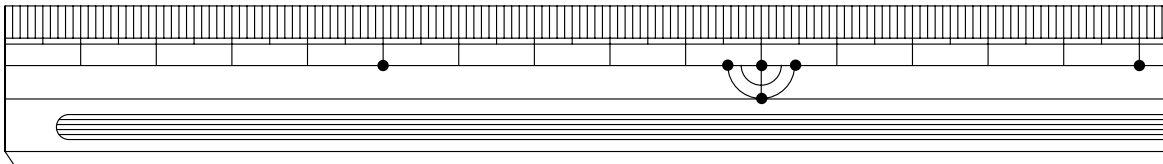
③ $39\text{ mm} = \square \text{ cm } \square \text{ mm}$

2 ものさしの 左はしから、つぎの ^{なが} 長さの ところに ある
めもりに ↓を 書きましょう。

① 2 cm

② $7\text{ cm } 5\text{ mm}$

③ 10 cm



3 どちらが 長いでしょうか。

① $(3\text{ cm}, 27\text{ mm})$ 答え ()

② $(82\text{ mm}, 6\text{ cm})$ 答え ()

ねらい 直線の意味とかき方を理解する。

① つぎの 長さの 直線を かきましよう。

直線のかき方

- (1) かきたい 長さを はかって、点を うつ。
- (2) ものさしの めもりが ついて いない
ほうを、点に 合わせる。
- (3) 点と 点を むすぶ。

① 2 cm 

② 7 cm 5 mm 

③ 10 cm 

② つぎの 長さの 直線を かきましよう。

① 5 cm

② 4 cm 2 mm

③ 108 mm

ねらい 長さについても加法性が成り立つことを理解する。

1 ①の 線の 長さ^{せん}と、②の 線の 長さ^{なが}を くらべましょう。

① _____ (6 cm)

② _____ (4 cm + 3 cm 7 mm)

① ①の 線の 長さ^{なん}は 何cmでしょうか。

cm

② ②の 線の 長さ^{なん}は 何cm何mmでしょうか。

cm + cm mm = cm mm

③ ①の 線と ②の 線では、どちらが どれだけ 長いでしょうか。

cm mm - cm = cm mm

答え のほうが cm mm 長い

2 計算^{けいさん}を しましょう。

① $2\text{cm} + 5\text{cm} =$

② $9\text{cm} - 6\text{cm} =$

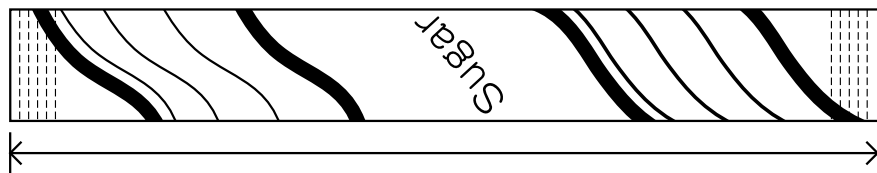
③ $5\text{cm}8\text{mm} + 3\text{cm} =$

5 長さ
(学んだことをつかおう) ⑥

なまえ

ねらい 身の回りのものの長さについておよその見当をつけ、測定することができる。I ^{なが}長さを よそうしてから、ものさしで はかりましょう。

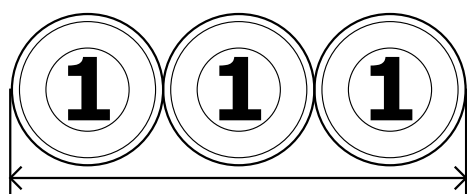
①

スティックの
おさとうの
よこの長さ

よそうした長さ ()

じっさいの長さ ()

②

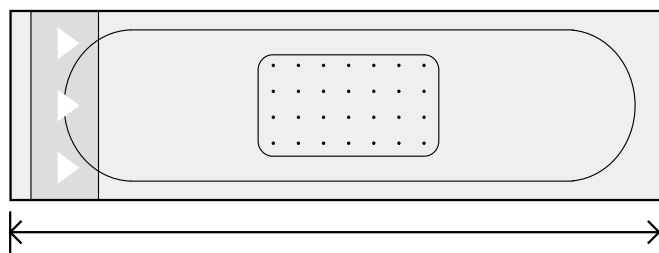


1円玉3この長さ

よそうした長さ ()

じっさいの長さ ()

③

きゅうきゅう
ばんそうこうの
よこの長さ

よそうした長さ ()

じっさいの長さ ()

④

^{さんすう}算数の きょうかしよの たての 長さ

よそうした長さ ()

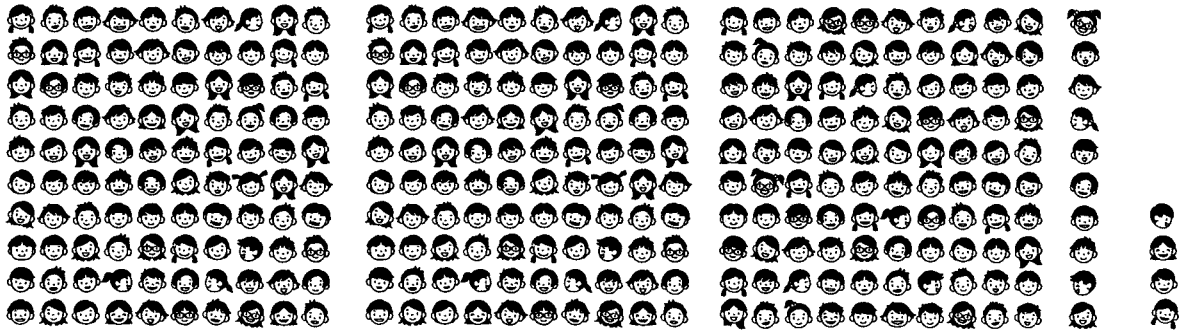
じっさいの長さ ()

6 100より大きい数 ①

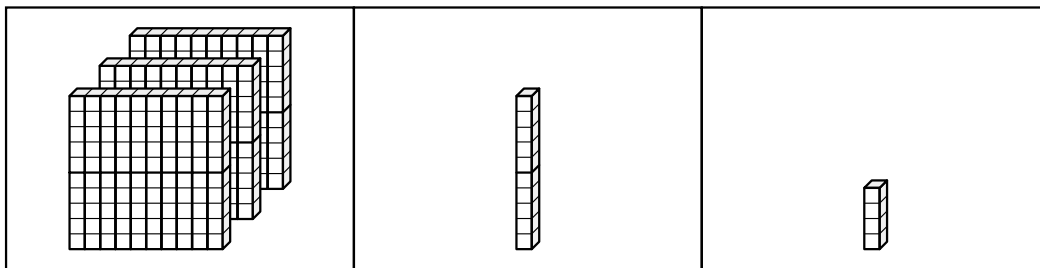
な
ま
え

ねらい 1000未満の数の読み方、表し方、3位数の構成と位取りの仕組み（百の位）を理解する。

① 何人 いるでしょうか。



① 人数を 数字で 書きましょう。

100が こ 10が こ 1が こ

百の位 くら	十の位	一の位

② 人数を 数字で 書きましょう。 ()

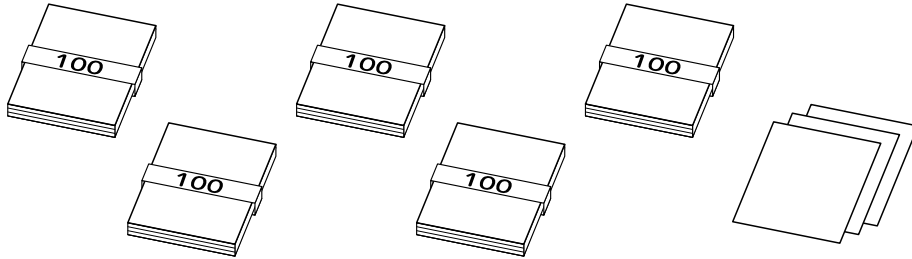
② 100を 8こと、10を 4こと、1を 9こ
あわせた 数を 数字で 書きましょう。 ()

6 100より大きい数 ②

な
ま
え

ねらい 空位のある3位数の読み方、表し方を理解する。

1 おり紙は ^{がみ}ぜんぶで ^{なん}何まい あるでしょうか。



① 100が こ 10が こ 1が こ

②

百の位 ^{くらい}	十の位	一の位

③ おり紙の ^{かず}数は まい

2 □に あてはまる 数を ^か書きましょう。

① 100を 7こと、1を 6こ あわせた 数は、 です。

② 100を 7こと、10を6こ あわせた 数は、 です。

③ 405は を 4こと、 を 5こ あわせた
数です。

④ 450は 100を 4こと、 を 5こ あわせた
数です。

ねらい

3位数の大小比較の仕方を理解する。

① ^{かず}数の 大小は、 $>$ 、 $<$ の しるしを つかって あらわします。
 () に あてはまる ことばを ^か書きましょう。

① $581 > 498$ 581 は 498 より ()。

② $581 < 598$ 581 は 598 より ()。

③ $378 > 245$ () は () より 大きい。

② □に あてはまる $>$ か $<$ の しるしを 書きましょう。

① 605 □ 506

② 208 □ 250

③ 456 □ 465

④ 789 □ 782

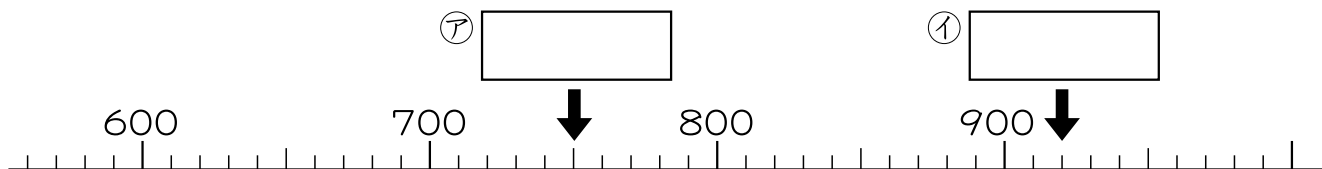
⑤ 922 □ 923

6 100より大きい数 ④

な
ま
え

ねらい 数直線をもとに、3位数の順序、大小について理解する。

1 下の 数の線 (数直線) を 見て 答えましょう。



① いちばん 小さい | めもりは、いくつを あらわして
いるでしょうか。

② 上の ①と ②の に あてはまる 数を 書きましょう。

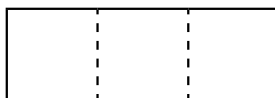
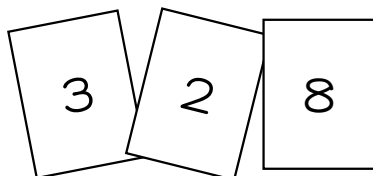
③ 590を あらわす めもりに ↑③を 書きましょう。

④ 900より 60 小さい 数を あらわす めもりに ↑④を
書きましょう。

2 に あてはまる 数を 書きましょう。



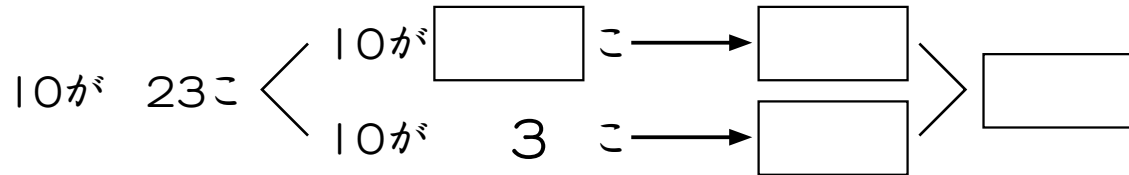
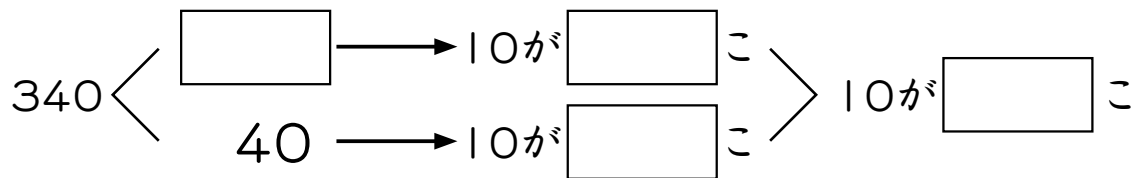
② 3まいの 数字カードを ならべて いちばん 大きな
数を つくりましょう。



6 100より大きい数 ⑤

な
ま
え**ねらい** 数の相対的な大きさについて理解する。1 □に あてはまる ^{かず} 数を ^か 書きましょう。

① 10を 23こ あつめた 数は いくつでしょう。

② 340は 10を ^{なん} 何こ あつめた 数でしょう。

2 □に あてはまる 数を 書きましょう。

① 10を 42こ あつめた 数は です。② 10 70こ あつめた 数は です。③ 570は 10を こ あつめた 数です。④ 900は 100を こ あつめた数です。⑤ 900は 10を こ あつめた数です。

ねらい 1000の読み方、書き方を理解し、1000以下の数の順序について理解する。

1 □に あてはまる^{かず}数を、() には ことばを^か書きましょう。

① 100を 10こ あつめた 数を () といい、

□ と 書きます。

② 1000は 999より □ 大きい 数です。

③ 1000より 2 小さい 数は □ です。

2 下の 数の線^{せん} (数直線^{すうちよくせん}) を 見て、□に あてはまる 数を 書きましょう。



① 1000は 990に あと □ あわせた 数です。

② 1000は 900に あと □ あわせた 数です。

③ 1000は 100を □ こ あつめた 数です。

④ 1000は 10を □ こ あつめた 数です。

⑤ 800より 200 大きい数は □ です。

ねらい 数の多様な見方をすることができる。

① 497に ついて、つぎの □に あてはまる ^{かず}数を ^か書きましょう。

① 100を□こと、10を□こと、1を□こに あわせた
数です。

② 百の位の ^{くらい}数字が□で、十の位の ^{すうじ}数字が□で、一の位の
数字が□の数です。

② 下の 数の線 ^{せん}(数直線) ^{すうちよくせん}で、798を あらわす めもりに
↑を ^か書きましょう。



① 798より 1 小さい 数は□です。

② 798より 1 大きい 数は□です。

③ 798より 10 小さい 数は□です。

④ 798より 10 大きい 数は□です。

⑤ 798より 100 小さい 数は□です。

ねらい 十を単位として見られる数の加法、減法の計算の仕方を理解する。

- ① みきさんと まなぶさんが おかしやさんに いきました。



20円



90円



50円



70円

- ① みきさんは  と  を 1こずつ 買いました。

ぜんぶで 何円ですか。

〈式〉

10の まとまりで
考えると いいね。

- ② 10円が 何こで 考えると $\square + \square = \square$

- ③ 10円が 11こ なので、答えは $\square$ 円です。

- ④ まなぶさんは 150円 もっています。

チョコレートを 買うと のこりは 何円に なるでしょうか。

〈式〉

答え

10の まとまりに
目を つけると、
10が $\square - \square$ という
見方が できるね。

- ② 計算を しましょう。

① $50 + 80 =$

② $170 - 80 =$

③ $40 + 60 =$

④ $130 - 60 =$

⑤ $70 + 90 =$

⑥ $150 - 70 =$

ねらい 百を単位として見られる数の加法及び減法の計算の仕方を理解する。

1 □に あてはまる ^{かず}数を ^か書きましょう。

① 400+500の ^{けいさん}計算の ^{しかた}を ^{かんが}考えましょう。

100の まとまりに 目を つけると、100が

$$\square + \square = \square$$

だから、400+500=□に なります。

② 800-600の 計算の しかたを 考えましょう。

□の まとまりに 目を つけると、□が

$$8 - 6 = \square$$

だから、800-600=□に なります。

2 計算を しましょう。

① 300+600=

② 800-500=

③ 470+20=

④ 990-60=

⑤ 800+200=

⑥ 600-200=

⑦ 700+30=

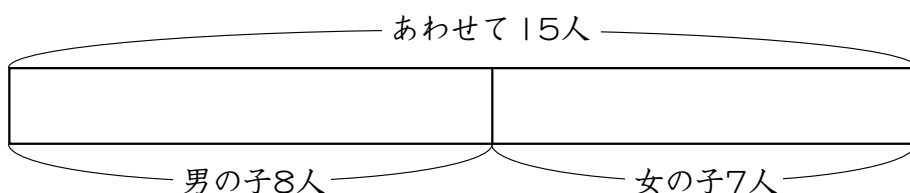
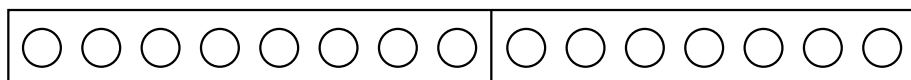
⑧ 540-40=

★ たし算とひき算の図 ①

な
ま
え

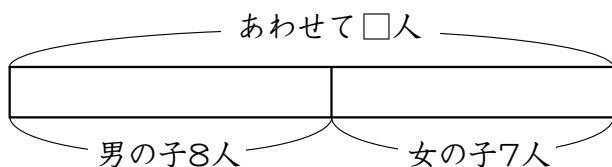
ねらい 加法と減法のテープ図の見方やかき方を理解する。

- Ⅰ 男の子が 8人、女の子が 7人 います。
男の子と 女の子は あわせて 15人 います。



上の テープ図^ずを 見ながら ^{かんが} 考えましょう。

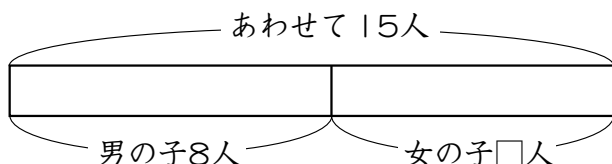
- ① 男の子が 8人、女の子が 7人 います。
男の子と 女の子は あわせて ^{なん} 何人 いるでしょうか。



〈式〉

こた
答え

- ② 男の子と 女の子は あわせて 15人 います。
男の子は 8人です。女の子は 何人でしょうか。



〈式〉

こた
答え

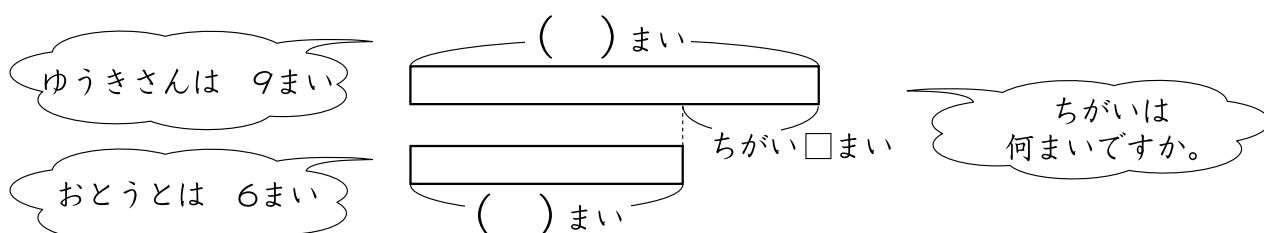
★ たし算とひき算の図 ②

な
ま
え

ねらい 加法と減法の問題場面をテープ図に表すことができる。

- ① もとめる ^{かず}数を □ と して、() に 数 を ^か書いて、
テープ図に あらわしましょう。

ゆうきさんは シールを 9まい、おとうとは シールを 6まい
もっています。ちがいは ^{なん}何まいでしょうか。

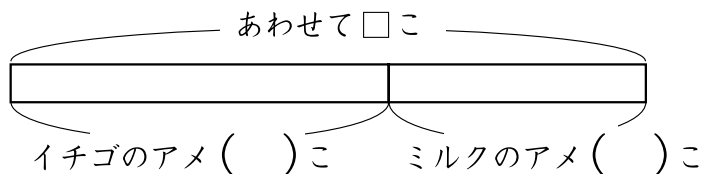
しき
<式>こた
答え

- ② もんだいに あわせて、テープ図に あらわしましょう。
また、式を 書いて、答えを もとめましょう。

- ① イチゴの アメが 25こ
あります。

ミルクの アメが 17こ
あります。

あわせて アメは 何こ あるでしょうか。

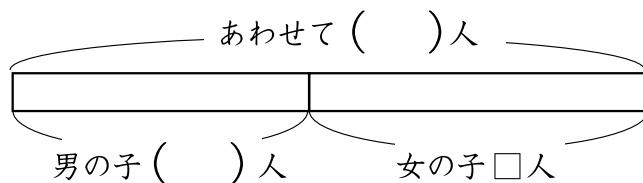


<式>

答え

- ② 男の子と 女の子が
あわせて 30人 います。
このうち 14人が
男の子です。

女の子は 何人でしょうか。



<式>

答え

7 たし算とひき算 ①

な
ま
え

ねらい 2位数+2位数で百の位に繰り上がる加法の計算の仕方を理解し、筆算ができる。

① $62+73$ の ^{ひっさん}筆算の ^{しかた}しかたを ^{かんが}考えましょう。□に ^{かず}数を、()には ^{ことば}ことばを ^か書きましょう。

$$\begin{array}{r} 62 \\ + 73 \\ \hline \end{array}$$

① ^{くらい}位を()に
そろえて 書きます。

$$\begin{array}{r} 62 \\ + 73 \\ \hline 5 \end{array}$$

② 一の位の ^{けいさん}計算を
します。

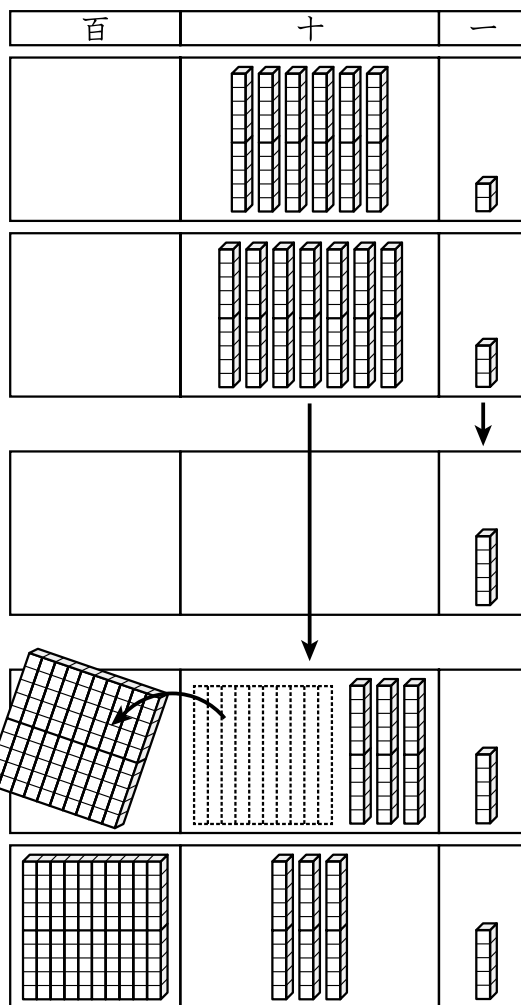
$$\square + \square = \square$$

③ 十の位の 計算を
します。

$$\square + \square = \square$$

百の位に
□ くり上げる。

$$\begin{array}{r} 62 \\ + 73 \\ \hline 135 \end{array}$$



② 筆算で しましょう。

① $75+84$

+		

② $32+76$

+		

③ $60+97$

+		

7 たし算とひき算 ②

なまえ

ねらい 2位数+2位数で繰り上がりが2回ある加法の計算ができる。

① $56+78$ の ^{けいさん}計算の ^{しかた}しかたを ^{かんが}考えましょう。□に ^{かず}数を、()には ^かことばを ^か書きましょう。

	5	6
+	7	8

	5	6
+	7	8

		1
	5	6
+	7	8
		4

① ()を
たてに そろえて
書きます。② ()の
^{けいさん}計算をします。
□+□=□
()の^{くらい}位に
□くり上げる。③ ()の
計算をします。
1+□+□=□
()の位に
1()。② ^{ひっさん}筆算で しましょう。

① $79+48$

+		

② $87+65$

+		

③ $92+58$

+		

7 たし算とひき算 ③

な
ま
え

ねらい

繰り上がって十の位が空位になる加法の計算、百の位への繰り上がりのない
3位数+1・2位数の加法の計算ができる。

1 ひっさん
筆算で しましょう。

① $34 + 68$

+		

② $82 + 18$

+		

③ $95 + 7$

+		

2 筆算で しましょう。

① $254 + 8$

+			

② $629 + 5$

+			

③ $856 + 9$

+			

④ $706 + 88$

+			

⑤ $359 + 39$

+			

⑥ $538 + 27$

+			

7 たし算とひき算 ④

な
ま
え**ねらい** 百何十何－2位数で百の位から繰り下がる減法の計算の仕方を理解し、筆算ができる。

- ① 145－63の ^{ひっさん}筆算の ^{めい}しかたを ^{めい}せつ明しましょう。
 □に ^{かず}数を、()には ^かことばを ^か書きましょう。

$$\begin{array}{r} 145 \\ - 63 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 145 \\ - 63 \\ \hline 2 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \cancel{1}45 \\ - 63 \\ \hline 82 \end{array}$$

- ① ()を
たてに そろえて
書きます。

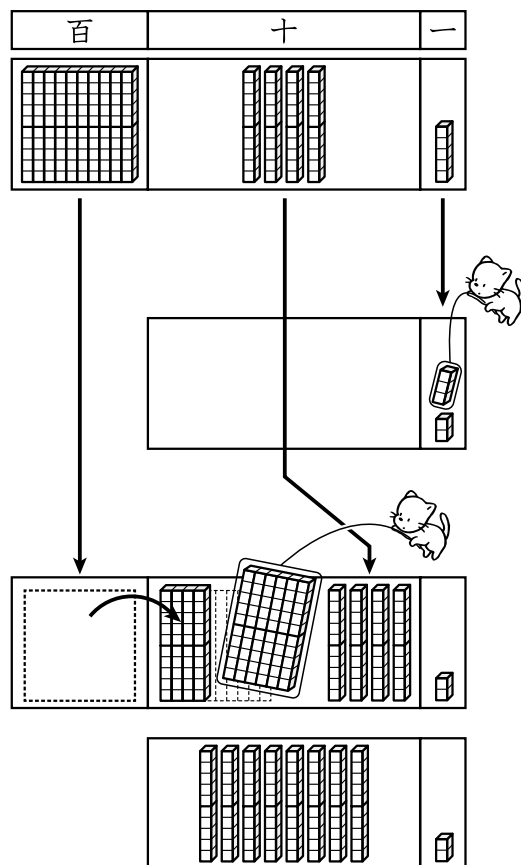
- ② ()の
^{けいさん}計算を します。

$$\square - \square = 2$$

- ③ ()の
計算を します。

^{くらい}百の位から
□ () ます。

$$\square - \square = 8$$



- ② 筆算で しましょう。

① 139－78

② 126－43

③ 145－60

7 たし算とひき算 ⑤

な
ま
え

ねらい 百何十何－2位数で繰り下がりが2回ある減法の計算ができる。

① 136－58の ^{けいさん}計算のしかたを ^{めい}せつ明しましょう。□に ^{かず}数を、()には ^かことばを ^か書きましょう。

	1	3	6
－		5	8

		□	□
	1	3	6
－		5	8
			8

		□	
	1	3	6
－		5	8
		7	8

① (の)から ② (の)から

1 くり下げます。

1 ()ます。

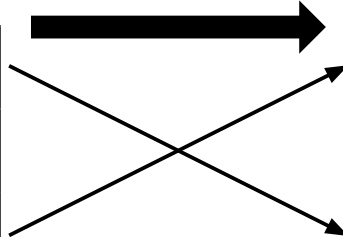
□－□＝8

□－□＝7

② 筆算で しましょう。

① 115－97

たしかめをしましょう



② 152－84

③ 150－69

④ 134－78

7 たし算とひき算 ⑥

な
ま
え

ねらい 百の位から波及的に繰り下がる減法の計算できる。

- ① $106 - 37$ の ^{ひっさん}筆算のしかたを ^{めい}せつ明しましょう。
^{かず}□に 数を、() には ^かことばを 書きましょう。

$$\begin{array}{r}
 106 \\
 - 37 \\
 \hline
 \end{array}$$

↓

$$\begin{array}{r}
 \square \\
 \square \cancel{0} \square 6 \\
 \cancel{\times} \quad \cancel{\times} \quad \times \\
 - \quad 37 \\
 \hline
 \quad \quad 9
 \end{array}$$

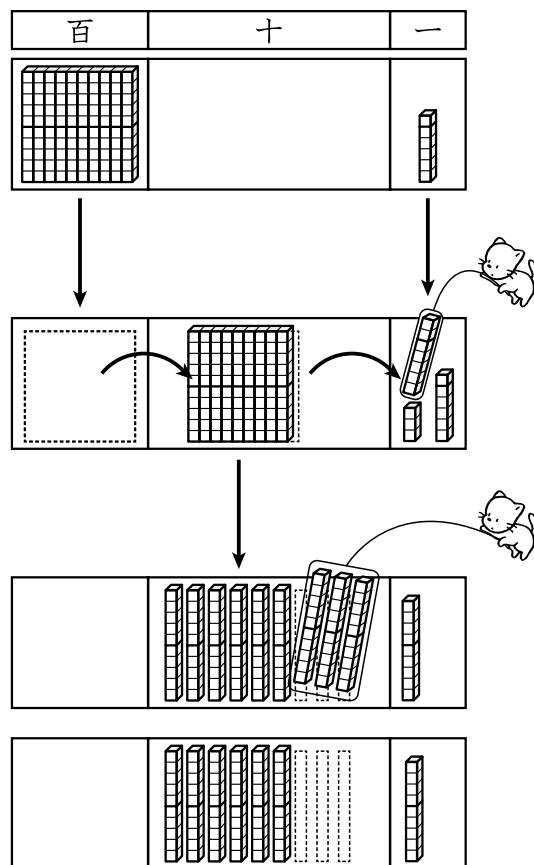
↓

$$\begin{array}{r}
 9 \\
 \cancel{\times} \quad \cancel{\times} \quad \times \\
 - \quad 37 \\
 \hline
 69
 \end{array}$$

- ① (の) から
 じゅんに
 くり下げます。

$$\square - \square = 9$$

$$\square - \square = 6$$



- ② 筆算で しましょう。

① $105 - 47$

② $107 - 99$

③ $106 - 87$

7 たし算とひき算 ⑦

な
ま
え

ねらい

答えが1位数になる計算や百何－1位数＝2位数の計算、
百の位から繰り下がりのない3位数－1・2位数の減法の計算ができる。

① ひっさん 筆算で しましょう。

① $102 - 95$

② $106 - 8$

③ $105 - 97$

② 筆算で しましょう。

① $321 - 7$

② $752 - 8$

③ $264 - 9$

④ $431 - 27$

⑤ $652 - 38$

⑥ $576 - 49$

★ 算数ワールド
筆算をつくろうな
ま
え

ねらい 数字カードを使った活動を通して、筆算の仕組みの理解を深める

- ① 下の 9まいの カードから 6まい つかって、
いろいろな たし算^{さん}や ひき算^{ひっさん}の 筆算を つくりましょう。



〔たし算の 筆算〕

〔ひき算の 筆算〕

$$\begin{array}{r} \square \square \\ + \square \square \\ \hline \square \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \square \\ + \square \square \\ \hline \square \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \square \\ - \square \square \\ \hline \square \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \square \\ - \square \square \\ \hline \square \square \end{array}$$

1つの 筆算に 同じ 数字 (同じカード) は 2かい つかえないよ。

- ② 百の位^{くらい}に ①と ②を おいて、筆算を つくりましょう。
□に 3から 8までの 数^{かず}を 1回ずつ つかって、
たし算と ひき算を つくりましょう。

〔たし算の 筆算〕

〔ひき算の 筆算〕

$$\begin{array}{r} 1 \square \square \\ + \square \square \\ \hline 2 \square \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2 \square \square \\ - \square \square \\ \hline 1 \square \square \end{array}$$